

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

📌 宮崎県第4週の発生動向

□ トピックス

・**インフルエンザ（定点把握対象）**：第4週（1/20~1/26）の定点当たりの報告数は30.6と、今シーズン初めて流行警報レベル開始基準値(30)を超えました。昨シーズンと比較して2週間遅くなっています。詳細後述。

□ 全数報告の感染症（4週までに新たに届出のあったもの）

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
- 4 類感染症：報告なし。5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、水痘(入院例)1 例、百日咳 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	女	無症状病原体保有者	—
			80歳代	女	肺結核	—
			80歳代	女	肺結核	痰
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	0~4歳	女	—	水様性下痢、嘔吐、O26(VT型不明)
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	都城	60歳代	男	—	発熱、咳、菌血症
	水痘(入院例)	宮崎市	30歳代	男	検査診断例	発熱、発疹
	百日咳	宮崎市	10歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は2,688人(定点当たり55.7)で、前週比131%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

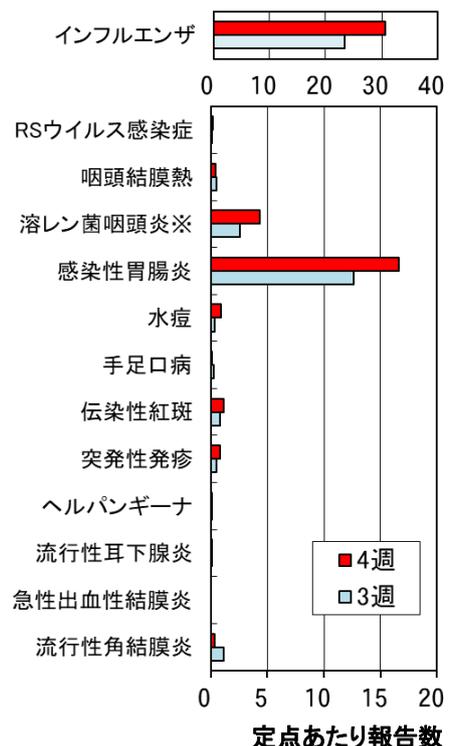
報告数は1,803人(30.6)で、前週比131%と増加したが、例年同時期の定点当たり平均値*(53.8)の約0.6倍であった。小林(60.8)、延岡(45.3)、都城(36.9)保健所からの報告が多く、年齢群別では10歳未満が全体の約半数を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は597人(16.6)で、前週比131%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値*(11.2)の約1.5倍であった。小林(39.7)、中央(21.0)、都城(20.7)保健所からの報告が多く、年齢群別では1~4歳が全体の約6割を占めた。

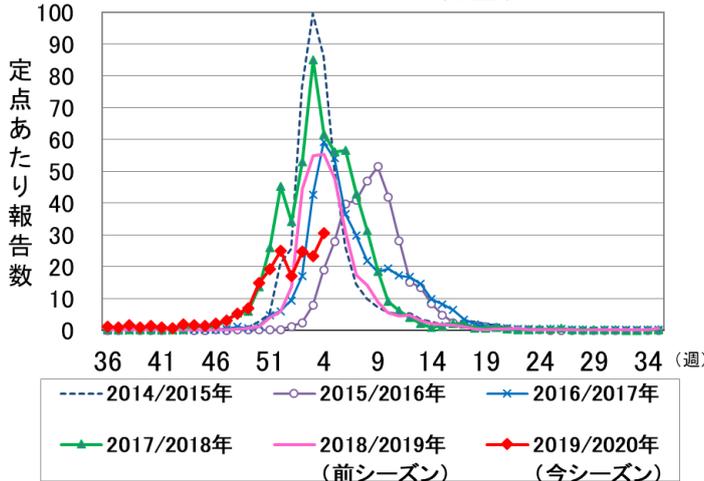
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》

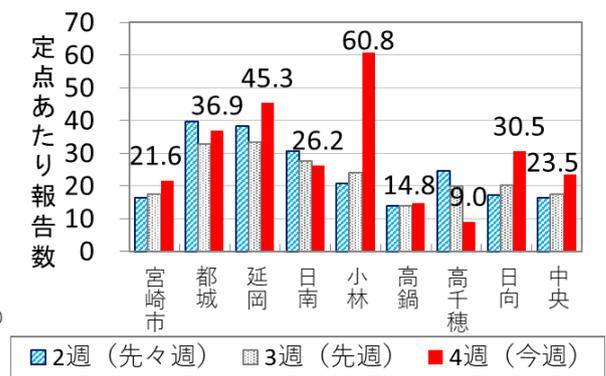


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

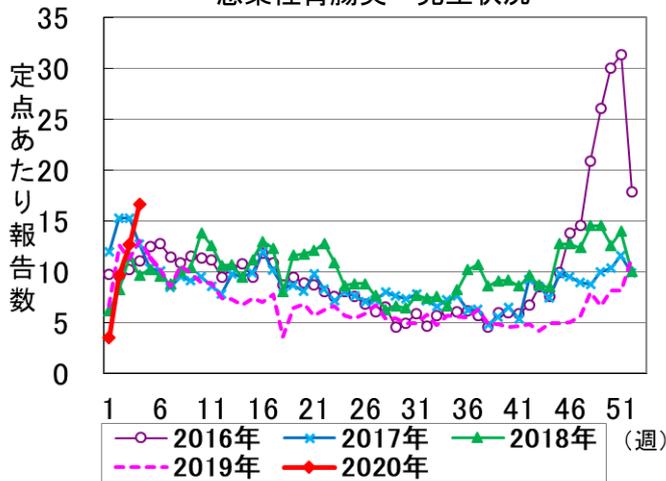
インフルエンザ 発生状況



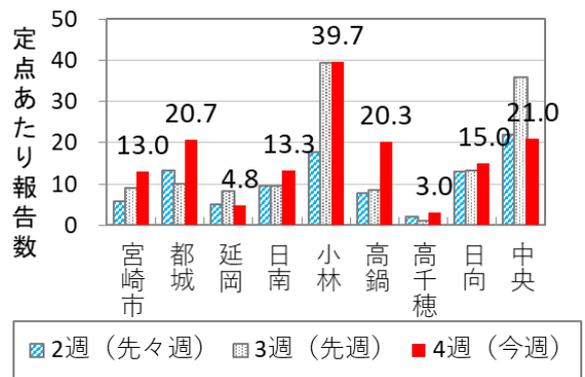
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

- マイコプラズマ肺炎：高鍋保健所から1例報告があり、年齢は5～9歳であった。
- 感染性胃腸炎(ロタウイルス)：宮崎市保健所から1例報告があり、年齢は5～9歳で病原体の群別は不明であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(21.6)、伝染性紅斑(2.2)
都城	インフルエンザ(36.9)、 感染性胃腸炎(20.7)、水痘(2.2)
延岡	インフルエンザ(45.3)
日南	インフルエンザ(26.2)
小林	インフルエンザ(60.8)、 感染性胃腸炎(39.7)、水痘(1.0)
高鍋	インフルエンザ(14.8)、 感染性胃腸炎(20.3)
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(30.5)
中央	インフルエンザ(23.5)、 感染性胃腸炎(21.0)、水痘(4.0)

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・インフルエンザ(30)
- ・感染性胃腸炎(20)
- ・水痘(2)
- ・伝染性紅斑(2)

* 流行注意報レベル基準値 *

- ・インフルエンザ(10)
- ・水痘(1)

✚ 全国 2020 年第 3 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 3 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	286 例				
3類感染症	細菌性赤痢	6 例	腸管出血性大腸菌感染症	24 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	11 例	エキノкокクス症	1 例	オウム病	1 例
	つつが虫病	10 例	デング熱	4 例	マラリア	1 例
	ライム病	1 例	レジオネラ症	19 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	13 例
	急性脳炎	14 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12 例
	後天性免疫不全症候群	7 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	11 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	42 例	水痘（入院例）	3 例
	梅毒	76 例	播種性クリプトコックス症	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	125 例	風しん	8 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 91%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はインフルエンザと水痘及び咽頭結膜熱である。

インフルエンザの報告数は 83,037 人(16.7)で前週比 91%と減少しており、例年同時期の定点当たり平均値* (34.1)の約 0.5 倍である。高知県(26.6)、福井県(25.8)、長崎県(24.9)からの報告が多く、年齢群別では 10 歳未満が全体の約半数を占めている。

感染性胃腸炎の報告数は 18,976 人(6.0)で前週比 98%とほぼ横ばいで、例年同時期の定点当たり平均値* (7.0)の約 0.9 倍である。宮崎県(12.6)、大分県(12.5)、福井県(10.2)からの報告が多く、年齢群別では 1～3 歳が全体の約 4 割を占めている

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2020年 第04週(01月20日～01月26日)

疾病名		第3週	第4週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1380	1803	345	369	317	131	304	89	18	183	47
	定点当り	23.39	30.56	21.56	36.90	45.29	26.20	60.80	14.83	9.00	30.50	23.50
RSウイルス 感染症	報告数	1	6	4	1		1					
	定点当り	0.03	0.17	0.40	0.17	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	17	15	7	1	1		1	1	2	2	
	定点当り	0.47	0.42	0.70	0.17	0.25	0.00	0.33	0.25	2.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	93	157	67	31	10	23	4	9		10	3
	定点当り	2.58	4.36	6.70	5.17	2.50	7.67	1.33	2.25	0.00	2.50	3.00
感染性胃腸炎	報告数	455	597	130	124	19	40	119	81	3	60	21
	定点当り	12.64	16.58	13.00	20.67	4.75	13.33	39.67	20.25	3.00	15.00	21.00
水痘	報告数	13	32	9	13		2	3	1			4
	定点当り	0.36	0.89	0.90	2.17	0.00	0.67	1.00	0.25	0.00	0.00	4.00
手足口病	報告数	9	1						1			
	定点当り	0.25	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	29	40	22	5	1	2	1	2		6	1
	定点当り	0.81	1.11	2.20	0.83	0.25	0.67	0.33	0.50	0.00	1.50	1.00
突発性発しん	報告数	18	29	15	2	6	1	2	1		2	
	定点当り	0.50	0.81	1.50	0.33	1.50	0.33	0.67	0.25	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	3	1	1								
	定点当り	0.08	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	3		2						1	
	定点当り	0.06	0.08	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	7	2	2								
	定点当り	1.17	0.33	0.67	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数		1						1			
	定点当り	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～4週)

2類感染症	結核	11例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例(1)				
4類感染症	A型肝炎	1例	つつが虫病	7例	レジオネラ症	2例
5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	3例(1)	水痘(入院例)	1例(1)	百日咳	1例(1)

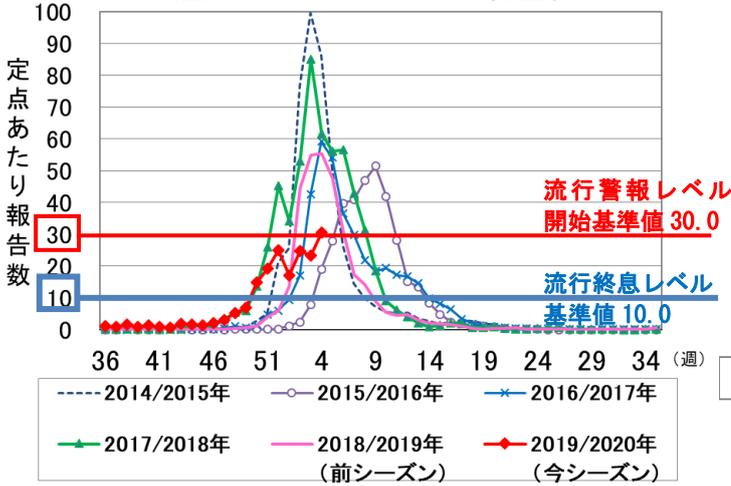
()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報《県内第4週、全国第3週（再掲）》

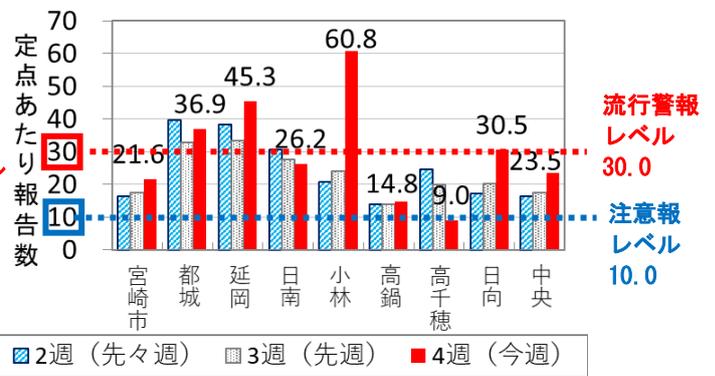
□ 県内第4週インフルエンザ発生動向

2020年1月20日～1月26日までの1週間で1,803人（30.6）の報告があった。前週の約1.3倍と増加し、例年同時期の定点あたり平均値*（53.8）の約0.6倍である（図1）。保健所別推移を図2に示す。年齢群別では5歳未満が全体の21%、5-9歳が32%、10-14歳が20%、15-19歳が6%、20-59歳が16%、60歳以上が5%を占めている（図3）。 * 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

（図1）インフルエンザ発生状況



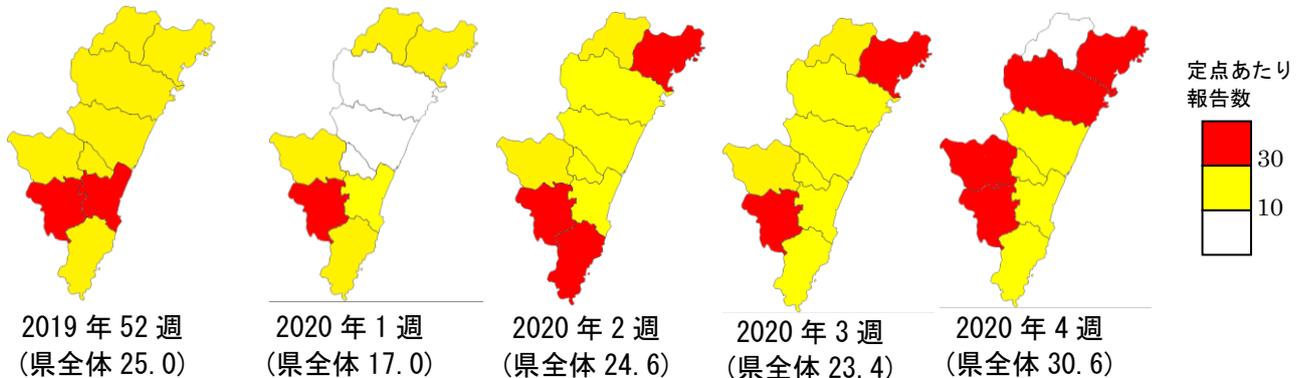
（図2）インフルエンザ保健所別推移（3週分）



（図3）年齢群別割合の推移（2019年第52週～2019年第4週）

週	5歳未満	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～59歳	60歳以上
52週 1473人	20%	38%	19%	3%	17%	3%
1週 1001人	21%	22%	11%	4%	34%	8%
2週 1454人	21%	23%	14%	4%	29%	9%
3週 1,380人	20%	28%	19%	4%	22%	7%
4週 1,803人	21%	32%	20%	6%	16%	5%

保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2019年第52週～2020年第4週



□ 全国第3週インフルエンザ発生動向

2020年1月13日～1月19日までの1週間で83,037人（16.7）の報告があり、前週の約0.9倍と減少した。高知県（26.6）、福井県（25.8）、長崎県（24.9）からの報告が多い。年齢群別では5歳未満が全体の20%、5-9歳が28%、10-14歳が16%、15-19歳が4%、20-59歳が25%、60歳以上が7%である。